

# 新庁舎の基本設計案（平面計画案）を見直しました

8月にお示しし、市民の皆さんからご意見をお聞きした新庁舎の基本設計案について、見直し後の計画概要や平面図などをお知らせします。

問 財政課管財係 ☎（22）2111（内線328）

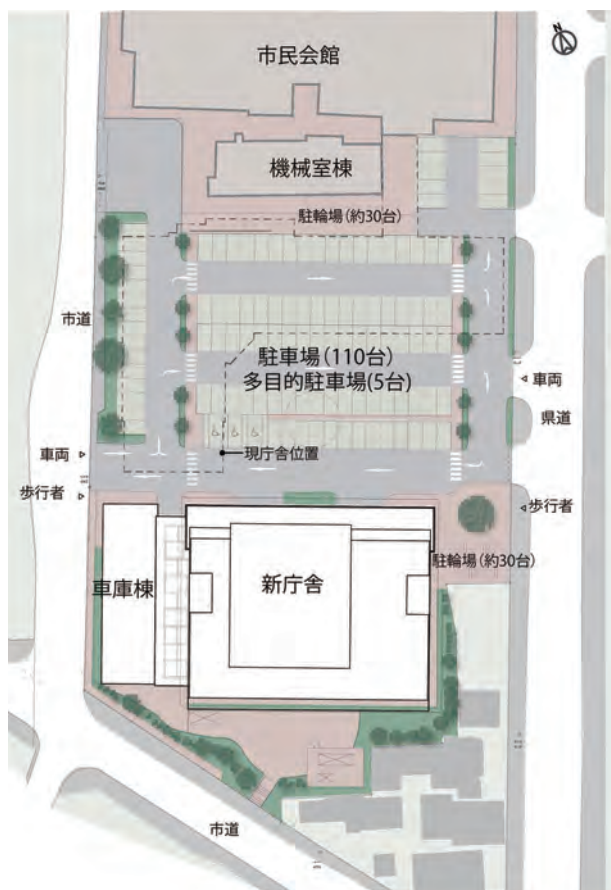


新庁舎整備方針 ～5つの方針に基づき、進めてきました～

市民	①誰もが利用しやすい庁舎 ②協働のまちづくりの拠点となる庁舎
防災	③危機管理の中心的役割を果たす庁舎
環境	④環境に配慮した庁舎
コスト	⑤将来の変化に柔軟に対応できる庁舎



## 配置計画図



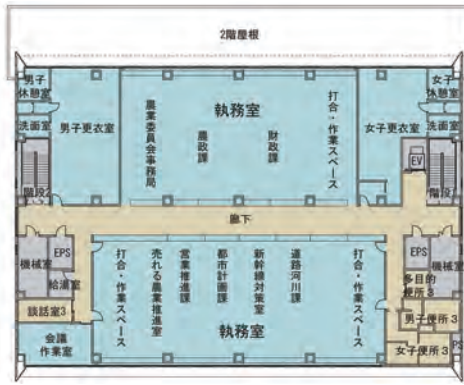
## 建築計画概要

建築面積	1,940㎡				
延床面積	6,662㎡				
各階床面積・高さ	新庁舎		車庫棟		
		床面積	高さ	床面積	高さ
	R階	309㎡	5.35m		
	5階	1,211㎡	4.0m		
	4階	1,211㎡	4.0m		
	3階	1,211㎡	4.0m		
	2階	1,387㎡	4.3m		
1階	1,136㎡	4.65m	197㎡	3.6m	
合計（棟別）	6,465㎡	26.3m	197㎡	3.6m	
構造	鉄骨造（免震構造）		鉄骨造		
駐車台数	115台				
駐輪台数	約60台				

## 新庁舎の特徴（主なもの）

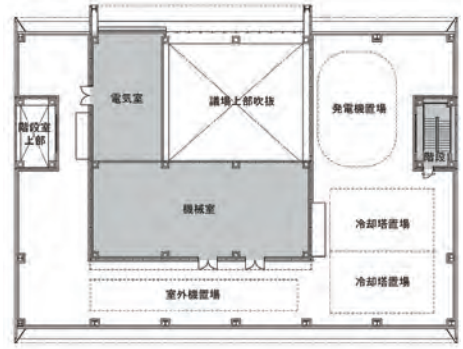
- ★同規模他市と比べてコンパクト（小さくまとめる）な庁舎の実現
- ★車寄せピロティ（空間）と風除ガラススクリーン（ガラスの壁）による冬季対策
- ★免震構造や3日間の使用を想定した非常用発電設備による危機管理
- ★市民も利用できるスペース（場所）の実現
- ★行政機能を集約しワンストップサービス（一つの場所で用事が済む）を実現

凡例



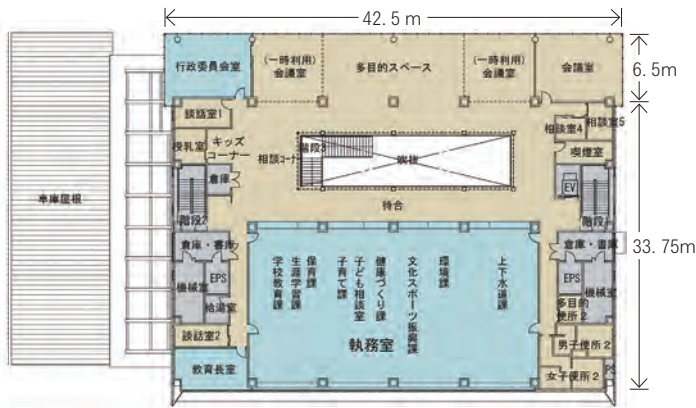
▲3階平面図

来庁者との打ち合わせスペースを充実



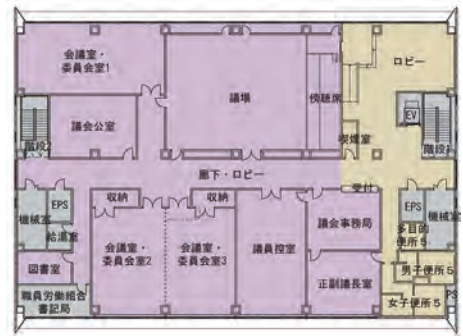
▲R階平面図

設備諸室を設置し、屋上を有効活用



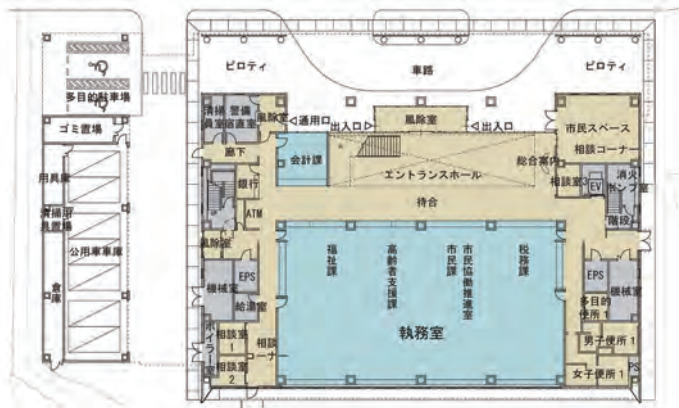
▲2階平面図

多目的・相談・キッズスペース等を充実



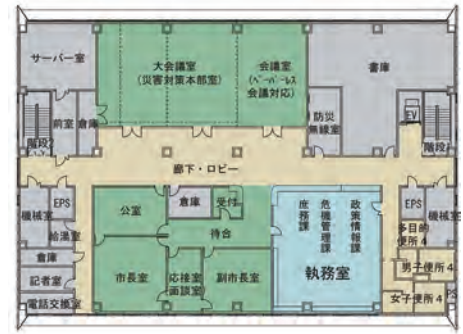
▲5階平面図

高社山を望むロビーを設置



▲1階平面図

ゆったりとした待合空間、市民スペースを設置



▲4階平面図

災害対策本部機能を集中配置

※詳細な平面図は、市公式ホームページ・市役所財政課で閲覧できます。

変更箇所（主なもの）

- 柱間隔の見直しにより、当初6907平方メートルであった延床面積を、基本計画で想定した延床面積（6300平方メートル＋機械室棟）以内の6465平方メートルに縮小し、これに伴い諸室の面積・配置を変更
  - 主出入口の位置を北側西寄りから北側中央へ変更
  - エスカレーターを取りやめ、1階と2階をつなぐ階段を設置
  - トイレ、エレベーター等の位置を西側から東側へ変更し、これに関連する諸室の位置等の変更
  - 市民スペース、多目的スペースの面積の縮小、可動間仕切壁の増設
  - 会議室等の面積の縮小、可動間仕切壁の増設
  - 市長室等の面積の縮小
  - 喫煙室を3カ所から2カ所に削減
  - 車庫棟の駐車台数の削減による面積の縮小
  - 既存駐輪場の利用による新設駐輪場の駐輪台数削減
- ※パブリックコメントに対する市の考え方は、次ページをご覧ください。